

【受験者】

部 門：農業部門

科 目：農業農村工学

専 門：農道トンネル

筆 記：必須科目Ⅰ：A 選択科目Ⅱ：A 選択科目Ⅲ：B 総合：A

【面接内容】

日 時：令和元年 12 月 10 日（火） 試験時間 14：40～15：00

場 所：フォーラム8 8階 803号室

面接官：■面接官（白髪 年配70歳代 主な質問を行う）

●面接官（50歳代 主に倫理担当）

※2人とも穏やかな様子で、特に意地悪な質問は無かった。いろんな経験をされてますねと、遠いところから来られて大変でしたねと、頻りに連呼していた。

面接官■，面接官●，当方○

■：お待たせして申し訳ありません。○○さん，どうぞお入りください。

○：失礼します。受験番号：12***** ○○○○です。よろしくお願いします。

■：荷物を置いて，そちらに腰かけてください。

○：失礼します。

■：広島から遠いところお越しいただいて，大変でしたね。これから口頭試験を始めますけれども，大変緊張されていると思いますけど，リラックスして答えてくださいね。

○：よろしくお願いします。

■：今回から試験制度が変更になって，全体的に難しくなったみたいで，受験される方準備が大変だったと思いますが，○○さんの感想はどうですか？

○：選択科目Ⅲの「解決策に共通して新たに生じるリスク」の部分が試験会場ではうまく書けませんでした。農業ですから，気候変動に対するリスクを最初を書くべきでしたが，これは雨風などの災害だけでなく降雨パターンの変化なども考えられます。私は各解決策の留意点を書いてしまいました。

●：その場での対応は難しいですね。

■：それでは，これからいくつか質問します。まず初めに，今回から試験制度が変更になっていますので，コンピテンシーの項目に沿って質問します。業務経歴や業務詳細についての説明を準備されているとは思いますが，これについては特にこちらからの質問はありません。準備されている内容とは異なると思いますが，落ち着いて答えてください。

○：はい

■：〇〇さんは経歴表みさせていただきましたが、いろんな経験をされてますが、日頃どんなコミュニケーションを部下の方たちと図っておられますか。コミュニケーションを図るにあたって留意している点などもお聞かせください。

○：原則毎週1回、グループミーティングを行い、各担当業務のスケジュールを確認するとともに、課題解決に向けた提案等をおこなっています。各担当が業務を抱え込まないよう、複数の担当でクロスチェックできるようにするとともに、職場内に見える化ボードを掲示して業務の見える化を図り、問題点を早期に発見し、複数の解決策がある段階のうちに処理できるよう留意しています。

■：見える化ボードですか？どんな風に掲示しているのですか？

○：各業務を列記し、青・黄・赤の3色のシールで各担当が意思表示します。黄色がいたらすぐにグループで協議、赤がいたら上層部を巻き込んで協議といった感じで、とにかく個人で責任を負うのではなく、組織として対応するということで、個人のメンタル面などのケアにもなっています。

●：凄いい取組ですね。これは県庁全体での取組なんですか？

○：いえ、もともとは公共関係で、過去に不正行為があり、再発防止策として、コンピテンシー研修をおこなうとともに、こうした見える化の取組をおこなうようになりました。この取組が現在の職場でのコミュニケーションやマネジメントに効果的であると考える、私が採用させていただいています。

■：コミュニケーションやマネジメントはしっかりとされてますが、そういった場合に様々な意見があるとは思いますが、その際のリーダーシップの方法はどのように行っておられますか？プロジェクトのマネジメント・リーダーシップの方法についてお聞かせください。

○：私は、専門性や組織風土・文化の異なる複数の職員をマネジメントする立場にありますので、まずは各々の専門性や組織風土・文化を尊重します。

そのうえで、プロジェクトの目的・全体像を明確にし、各担当の役割とスケジュール全体像の中での各業務の位置付け等を示すことで、点の作業を線として理解してもらうことにより、連携の必要性を示し、各担当の強みができるだけ発揮されるよう、総合調整・ベクトル合わせをおこなっています。

■：分かりました。それでは、私からは最後の質問になりますが、これまでの業務を〇〇さんなりにどう評価し、どう業務改善につなげているのか、具体例でもかまいませんのでお聞かせください。

○：経歴表1行目の農業用コンクリートダムの嵩上げ工事において、受注者の大手ゼネコンの技術者は設計成果品を鵜呑みにすることなく、現地の地形条件などを活用し、さまざまな技術提案をおこなってきました。当時の私は、設計成果品や基準書を理解するのがやっとの状態でしたが、受注者の提案は、現在も時に読み返したりしますが、新鮮で本当に勉強になる内容でした。

その当時、いろいろ学んだ経験が、2行目の今回の業務詳細で取り上げた技術提案や5行目の大規模農業団地構想などの発想につながっていると評価しています。

- ：それでは、私の方から、技術者倫理に関する質問をさせていただきます。
技術者の倫理について、普段からどのように心掛けておられますか？
- ：技術士綱領や3義務2責務は常に意識していますが、私は公務員ですので、特に公益確保の責務と信用失墜行為の禁止については留意して業務を進めています。
- ：公益確保についてですが、利害関係者との調整が必要となってくると思われますが、その点の事例をこれまでの経験の中で何かありますか？
- ：ほ場整備事業において、換地処分を行う直前に、地権者から追加工事の要望がありましたが、換地原案では同意済であったこと、その後の実施設計や工事説明会等でも同意されていたことから、土地改良区や地元関係者の方たちと協議した上で、この要望には応えられないということを説明しました。
- ：すぐに納得されましたか？
- ：納得されませんでしたでしたが、土地改良区や地元関係者なども協力していただき、何度か説得した結果、最後には納得していただきました。
- ：換地処分は大変ですね。
- ：それでは、最後の評価項目の継続研鑽について質問します。これまでどのような努力をされてきましたか。学会発表とかもありますか？
- ：農業農村工学会と技術士会に入会しています。農業農村工学の専門知識をベースに幅広い視点が必要だと考えていますので、ビジネスマネジャーやメンタルヘルスマネジメントなど様々なマネジメント系の資格なども取得しています。農業農村工学会では、これまで中国四国支部講演会で2度発表しています。その他、農業工学研究所や農林水産省での事例紹介などがあります。
- ：いろんなところで発表されたりして、凄い経験を持っておられますが、合格後の抱負についても何か考えていることがあればお聞かせください。
- ：合格できれば、技術士会の正会員となることのできるのので、中国本部の農業部会や県庁技術士会の各種講演会や行事に参加し、交流を広げることで視野を広げていきたいと考えています。
また、中国本部の行事だけでは、年間50CPDが難しいので、年に何度かは、東京や福岡での講演会や行事にも参加したいと考えています。
- ：それでは最後に、本当に経験豊富でいろんな経験をされているのがよくわかりますが、受験動機だけお聞かせください。
- ：動機は2点あります。
1点目は、自己研鑽です。部長が技術士なのですが、先輩技術士のように、多面的な観点から物事をとらえて、対応できるような視点を身につけたいからです。
2点目は、公務員ですので、発注者として受注者に指示したり、技術提案などを評価したりする必要があるためです。
そのためには、技術士となり社会的信用度を向上させ、責任を持って、社会貢献できる技術者にならないといけないと考えたからです。
- ：ありがとうございました。私からは以上です。

- ：はい。それでは、〇〇さん、本当に今日はわざわざ遠いところからお越しいただいてありがとうございました。これで試験は終わりますので、お疲れさまでした。
- ：ありがとうございました。よろしく願いいたします。
- 失礼します。

以上、試験時間は約18分程度でした。

【追 記】

- 13：45 7階 773号室前で受験票を提示して受付
- 13：45～14：30 控室（773号室）で待機
- 14：30 試験開始予定10分前に試験室（803号室）前に移動
※内部では何か雑談しているような声がかすかに聞こえてくる
- 14：40 入室するように声がかかる
※私の前の時間帯は休憩時間か何かだったようです。
- 15：00 退室
※控えの席に1名の方が待機されていました。